

平成 28 年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立国府小学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国 語	<ul style="list-style-type: none"> 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する【A問題】 目的や意図に応じて、書く事柄を整理する【A問題】 グラフを基に分かったことを的確に書く【B問題】 	<ul style="list-style-type: none"> 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く（相談する）【A問題】 目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く【B問題】
算 数	<ul style="list-style-type: none"> 除法における計算の確かめの方法を理解している【A問題】 繰下がりのある減法の計算をすることができる【A問題】 不等号を理解している【A問題】 	<ul style="list-style-type: none"> 単位量当たりの大きさの求め方を理解している【A問題】 1 を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している【A問題】

質問紙	<p>「授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した割合が、全国平均以上でしたが、「授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う」と回答した割合は昨年度より低く、平均を下回りました。このことから、「話す・聞く」活動をめあてをもって行えるよう、課題解決へ向けて内容の充実や相互の意見交換の活性化を図るなどして、話し合い活動の充実に努めていきます。</p>
-----	---

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、繰り返し練習することのみならず、漢字のもつ意味を考えさせたり、同音異義の漢字に注意させたりして使わせるように工夫していきます。また、辞書を手元で利用できる言語環境を整え、レポートや新聞などお互いに文章を見合えるような場面をつくり、意図的・計画的に指導していきます。 図表やグラフを読み取り、自分の考えを表すには、その中のどの数値や言葉を使って書けば効果的なのか、印やメモを書く習慣を付け、検討し、確かめる活動を充実させていきます。 単位量当たりの人数を捉えやすくするためには、1 単位量の区切りに、均等に配分した図につくり変え、等分除の場面であることを理解させ、立式させるなどイメージ化ができるよう工夫していきます。 百分率で表された場面の理解は、基準量、比較量、割合の関係を線分図等を用い、正しく捉えさせ、特に基準量は何かを考えられるよう図示化を取り入れるなどして指導していきます。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> 児童質問紙において「一日当たり 3 時間以上、テレビゲームや携帯、スマートフォンゲームをする」と回答した割合が高くなりました。学校でも適切な利用について指導を行っていますが、ご家庭においても家庭での過ごし方やゲームのルール等について、お子さんと話し合ってくださいようお願いいたします。 「書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた」と回答している割合も多くありました。「1 日当たりの読書の時間が 10 分にも満たない」「図書館にほとんど行かない」と回答した割合も多くありました。自分の考えをもったり、また、粘り強さを身に付けたりするために、継続して行えることをお子さんといっしょに見つけ出し、成長の糧としていきたいと考えております。ご家庭のご協力をお願いいたします。
